

第92回

日本音楽コンクール
受賞記念演奏会



©福岡諒詞

ピアノ部門

鈴木 愛美 *Suzuki Manami*

ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第4番ト長調 作品58



©ayane shindo

バイオリン部門

水野 琴音 *Mizuno Kotone*

メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64



ホルン部門

吉田 智就 *Yoshida Tomonari*

W.A.モーツァルト/ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 K.447



声楽部門

市川 敏雅 *Ichikawa Toshimasa*

G.ロッシーニ/歌劇 セヴィリアの理髪師 より
「私は町の何でも屋」 他



指揮

松尾 葉子

Matsuo Yoko

管弦楽

セントラル愛知交響楽団

Central Aichi Symphony Orchestra



2024.4.18【木】

愛知県芸術劇場
コンサートホール

開場 17:30

開演 18:30

入場料(全自由席)

【一般】¥3,000

【U25】¥1,500

※未就学児入場不可。 ※U25は入場時身分証提示。 ※関係者席にはお座りいただけませんのでご了承ください。

■主催 毎日新聞社 セントラル愛知交響楽団

■後援 愛知県 名古屋市各教育委員会 NHK名古屋放送局

■特別協賛 ダイドー株式会社

■協賛 リンナイ株式会社 NTT西日本 株式会社メニコン 中西電機工業株式会社
丸善雄松堂株式会社名古屋支店 東朋テクノロジー株式会社 株式会社オカムラ
赤門ウイレックス株式会社 株式会社マキノ ヤマハミュージック名古屋店
(順不同)

前売り

愛知芸術文化センタープレイガイド ☎ 052-972-0430

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード 263-819)

セントラル愛知交響楽団 ☎ 052-581-3851

お問い合わせ

セントラル愛知交響楽団 ☎ 052-581-3851

第92回 日本音楽コンクール 受賞記念演奏会

Artists Profile

声楽部門

市川 敏雅
Ichikawa Toshimasa

1990年生まれ、奈良県出身。大阪芸術大学大学院前期課程修了。前期課程卒業時に奨学金全額免除生として選出される。神戸新聞主催 松方ホール音楽賞 新人奨励賞。第50回記念新進音楽家競演会『なにわ芸術祭』にて審査員満場一致で当時の最年少新人賞受賞。第92回日本音楽コンクール入賞。その他にも国内外で数多くのコンクールで上位入賞を果たす。2016年より活動範囲を国内外に広げ2018年渡英。英国ロイヤルオペラハウスで研鑽を積む。宗教曲に対して海外の批評家から定評があり、2018年にドレスデン国立歌劇場で行われたブラームス「ドイツレクイエム」でのバスソロは各紙から“Outstanding noble sound”(卓越した高貴な響き)や“blown away”(圧倒された)“impressive”(感動的)と多くの讃辞が贈られた。びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー。

バイオリン部門

水野 琴音
Mizuno Kotone

2003年生まれ、奈良県出身。10歳で青森県に転居。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部3年に宗次徳二特待奨学生第9期生として在学中。第92回日本音楽コンクール第1位、併せてレウカディア賞、鷺見賞、INPEX賞。第21回東京音楽コンクール弦楽部門第2位及び聴衆賞。第15回アルテュール・グリムオー国際ヴァイオリンコンクール(ベルギー)第1位及びグランプリ。第24回日本演奏家コンクール弦楽器部門・大学生の部第1位及び朝日新聞社賞・兵庫県知事賞。第40回霧島国際音楽祭音楽祭賞。第16回ミュージックアカデミーin みやざき優秀賞・第28回宮崎国際音楽祭新星たちのコンサート出演。これまでに伊東暁美、マウロ・イウラート、小栗まち絵各氏に、現在、玉井菜採氏、堀正文氏に師事。室内楽を山崎貴子氏、中木健二氏に師事。

ホルン部門

吉田 智就
Yoshida Tomonari

1999年生まれ、千葉県出身。東京音楽大学付属高等学校を経て、東京音楽大学を給費奨学生として卒業。第92回日本音楽コンクールホルン部門第1位、併せて岩谷賞(聴衆賞)、瀬木賞、INPEX賞を受賞。第38回日本管打楽器コンクールホルン部門第1位、併せて文部科学大臣賞、東京都知事賞を受賞。第20回東京音楽コンクール金管部門第1位。ソリストとして東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、千葉交響楽団と共演。2019年千葉県少年少女オーケストラ団員として、テレビ朝日「題名のない音楽会」・サントリーホールでの東京公演に出演。これまでにホルンを吉永雅人、福川伸陽の各氏に師事。

ピアノ部門

鈴木 愛美
Suzuki Manami

2002年生まれ、大阪府出身。4歳よりピアノを始める。大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を経て、東京音楽大学器楽専攻(ピアノ演奏家コース)に給費奨学生として入学。現在4年在学中。第27回フッパル鳥栖ピアノコンクールフッパル部門第1位。第32回宝塚バガ音楽コンクール・ピアノ部門第4位。2020年度より毎年「東京音楽大学ピアノ演奏会～ピアノ演奏家コース成績優秀者による～」に出演。2023年8月、第47回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリおよび聴衆賞、併せて、文部科学大臣賞、スタインウェイ賞受賞。同年10月、第92回日本音楽コンクールピアノ部門第1位および岩谷賞(聴衆賞)、野村賞、井口賞、河合賞、三宅賞、アルゲリッチ芸術振興財団賞、INPEX賞受賞。これまでに、稲垣千賀子、佐藤美秋、石井理恵、仲田みずほ、石井克典の各氏に師事。

指揮

松尾 葉子
Matsuo Yoko

セントラル愛知交響楽団特別客演指揮者。1982年フランスのプザンソン指揮者コンクールで、女性として史上初めて、また日本人としては小澤征爾について二人目の優勝。1975年東京芸術大学指揮科に入学、同大学院修了。1981年パリのエコール・ノルマル音楽院でピエール・デルヴォー氏に師事。帰国後、NHK交響楽団、日本フィル、二期会オペラなどを次々と指揮し高い評価を得ている。1999年4月からセントラル愛知交響楽団常任指揮者を務め、能演出による「ドン・ジョヴァンニ」や、文楽様式による「カルメン」など、独自の斬新な企画が話題を呼んだ。2004年文化庁海外派遣でパリ管弦楽団にて研修。2005年、中部国際空港開港式、愛知万博ジャパンデー式典の演奏指揮。東京芸術大学指揮科で30年間、教官を務めた。2015年から2020年まで愛知県立芸術大学客員教授。

管弦楽

セントラル愛知交響楽団
Central Aichi Symphony Orchestra

1983年発足。2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2023年創立40周年。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田銅亮が就任(2024年度より音楽監督)。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。定期演奏会、第九の他「超!有名曲」「Wコンチェルト」「オペラハイライト」等のシリーズを自主公演として展開。バレエ、オペラ等の依頼公演にも数多く出演。幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。



FA & ロボット

産業界のコンダクター

メカトロニクス技術商社
タイド株式会社

本社 / 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南4-12-19 TEL.052-533-6722

INDUSTRIAL
CONDUCTOR